

平成 27 年 10 月 19 日

相生市議会議長

吉田 政男 様

会 派 名 公明党

代表者名 渡邊 慎治

出張報告書

政務活動費により視察、研修、要請・陳情活動、会議のため出張いたしましたので、下記のとおり報告します。

記

氏 名	後田 正信	
日 程	平成 27 年 10 月 15 日 から 10 月 16 日 まで 2 日間	
月 日	視察、研修、要請・陳情活動、 会議先	視察、研修、要請・陳情活動、会議項目
10・15	全国市町村議会議員研修	「防災と議員の役割」2日間コース
10・16	同上	同上

旅費 (1 名分)	負担金 (1 名分)	合 計 (1 名分)
6, 040 円	7, 732 円	13, 772 円



視察、研修、要請・陳情活動、会議の成果

10月15日（木）

12:30 開校式

13:00～14:45 （講義） 「地域防災の考え方と向上」

講師 山口大学大学院理工学研究科準教授 瀧本 浩一

15:00～20 （導入講義） 「執行機関の災害対応」

講師 跡見学園女子大学教授 鍵屋 一

15:20～17:00 （演習） 「執行機関の災害対応と議員の役割」

10月16日（金）

9:25～10:35 （講義） 「災害直後、復旧・復興期における議員の役割」

講師 東松島市議会議員、佐藤 富夫

10:50～12:00 （演習） 「災害直後の議員の役割」

13:00～14:00 （演習） 「復旧、復興生における議員の役割」

14:10～15:00 （まとめと今後の展望）

講師 跡見学園女子大学教授 鍵屋 一

10月15日

「地域防災の考え方と向上」では、防災とは予防であり、減災のための事前対策、備え（予防）が大切であるとの認識の下、今後の地域防災向上のためには、自助を促進させることが大切であり、個人の意識を啓発するには共助（地域）による自助（個人）の促進が必要である。そのためにも様々な機会を活用し、減災の対応ではなく事前の対策・備えが「予防＝減災」につながる。

「執行機関の災害対応と議員の役割」をワールドカフェ形式（ファシリテーション）で行いました。

10月16日

「災害直後、復旧・復興期における議員の役割」の講義を受けて、ワールドカフェ形式で行い、「応急期」における議会、議員の活動についての対策として、議長のみが災害対策本部の一員として参加、議員の安否確認、情報収集や議員への連携をする。また議員の役割では、議員も被災者であるため家族の安否確認、自身の安全確保をしつつも避難所や市民の要望などの情報収集、議長への報告具申、地域での支援活動、暴走議員にはならない（直接職員や本部に要望や意見を言い現場を混乱させない）。

「復旧期」では、議会本来の活動。特別委員会の設置。行政に過大な要求はしない「復興期」では議会・議員が、国・県との政治的調整。議会本来の権能を発揮（審査・監視）提言すべきであると、以上がワールドカフェでのまとめでした。

相生市議会においても、議会・議員の基本的な災害時の行動マニュアルの必要性を感じました。

（資料等添付のこと）